



東北振興策に就て

貴族院議員 金成通

八

そして産業振興は勿論、その特殊な地位の將來の發展文化其の他にも東北の振興に對しては、特に政府として設を爲されて、救済と振興を考へて居るべきであらう。管見で已まないものであります。

之に對しては、將來に對する御意見を承ることが出来れば、誠に仕合せに存する次第であります。

五月二十二日
總理大臣 廣田弘毅君
只今金成君より東北地方を御説明に相成りました。

誠に東北の状態は特に政府として注意を拂はなければならぬものであります。云々

と、豫て痛感致して居る算に於きまして、今回の豫北の爲に特別の施設をする點が多々あるやうに思はれるのであります。只今金成君から御述べになりました。東北振興の爲に將來恒久的に施設をすることの必要を政府と致しまして、内閣に特に其の爲の委員會を設け、更に進んで或一つの東北の爲の局を設けると言ふ考へも持つて居らるるであります。

この頃集

○水泳を真似て淺瀬に這ふ吾子の尻の圓さを妻と笑ひし
川原 潤子

○鈴虫はよと鳴きやみぬ白蚊帳のなかは青し月明りして
泉

○うす衣肌にとまひて夕風の涼しきはとどろきうかれ来し
泉

○寄る波も霞るるよこの浦の畫静かなかりか
龍 蒼 路 藍 輪

○長雨に袋破られ梨の實の夕櫻雲に二三つは
中 村 清 一

七夕俳句大會句抄

主催 青森發行所、後援 青森新聞社
期日 八月二十三日午後二時
會場 城山俱樂部
會者 二十五名

(下)

桐一葉 法師輝
如露の雨降りかゝりたる一葉かな
石垣の草に釣られて一葉かな
なつかしの校舎は古し法師輝
自轉車を押し行く坂や法師輝
鐘樓に隣る社や法師輝
城山は屋敷町なり法師輝
廢坑のみちよりゆるり一葉かな
桐一葉法師は門を深く住む

酒はホルモン
豪酒家の見出しに贈る
於菟路 作品

酒は愛き世のホルモン
飲んで頂へば 朗かだ
矢でも飲んでも 飛んで
来い
浮かれ浮かれて 興大雅
くよくよするな うまく
酔つた酒まで 醒めてく
ねえ

酒は愛き世のホルモン
酒は飲んでも 飲まいで
はつきりして 此の通
りなる歪 なんてな
やうく上手 乙なも
酒飲めばツイ 朗かだ
酒は愛き世のホルモン
酒は飲んでも 飲まいで
はつきりして 此の通
りなる歪 なんてな
やうく上手 乙なも
酒飲めばツイ 朗かだ

高橋是清

(105) 松浦泉三郎作
佐々木今朝吉譯
轉載無限 (五)

米人モロー博士は、會
て伊藤博文と母國で知合
たのが縁となつて、我が教
育制度確立のため招聘され
て、來朝したもので、その
業績には見るべきものが少
くなかつたが、和喜次が文
部省に入つてから二年目
の、明治八年十月、博覽會
の要務を帯びて、外國へ出
張するようになったので、
和喜次は現職から、大阪英
語學校校長に轉動を命ぜられ
た。

和喜次は準備を終えたと
酒飲めばツイ 愉快いよ
酒飲めばツイ 愉快いよ
皆んな仲好し ジャズ仲
間



初秋獨酌
珠露 小野野平
滿天涼氣露華繁
秋到梧桐一葉翻
草際新登足頓應
呼杯移榻倚南軒

みちのくのホームに桐の一葉かな
草の穂に陽を落しつる一葉かな
月光の背にまよふ一葉散る
もろせみの聲にまぎれ法師輝
啼きながら幹をさぐり法師輝
蒼天に現れちこみて法師輝
葉もれ陽を得てつやけし法師輝
見下せる谷へ一葉の落ち行く
桐一葉落ちて聲もる秋庭かな
湯の宿はすでに灯りて法師輝
は匂つくる心亂しぬ桐一葉
くればがたは心もなし法師輝
忘れぬ人のたよりや桐一葉
砂こぼす籠の雲雀や桐一葉
城山の秋はつくつくはうしより
月の影に落ちて陰な一葉かな
鳴きつれては、はるかかなる

次節に、佛敎の主旨に就いて、こう考へると、遂に意を
ての質に相違を生じて來て、決して別れた
た。半年目頃からの事であ
つた。そして和喜次が、東京英
語學校敎育を非命したのには
和喜次が廿一歳、明治九年
五月初めだつた

「さうか？」
「佛敎は失望の色を濃く顔
に浮べて、暫らく腕を拱い、
て思案してゐたが、やがて
顔も曇り、口もあつた。」
「高橋君、頼みがある。」
と、和喜次を正面から見
つめて、
「然し何を理由として？」
「理由を言ふな。唯考へる
から放れ去つて了らぬ中であ
つて、君だけが幾らぬ友情旅
費手當等の不足分はわし
を示して呉れて来た。わし
から出す。」

「君は其の知友と思つて
居る。彼は外務書記生として佛
蘭西に在る事約三年、暇を
乞ふて歸朝すると、英佛國
語の通者として將來を期
す、留められる袖を拂つて
獨り番町に隠棲し、世間と
の交渉を絶つて了つてゐた
のである。佛蘭西へ行つて
以來佛敎の研究に深く心を
傾け出し、これがその因つ
たものらしい。和喜次は、
次がそれを憐んで休日毎に
訪れ、思ひ直して、再び世
に出る事を勧告しても、頑
として聞かぬやうとなつた
かつた。」
「訪ねると喜んで、
「今日は何日でもないのに
何んだ？」
と、訊いた。そして
「實は暇に來た。今度大
阪に去られて了らぬ事だ、
わしは耐えられぬ事だ、
そこで兼君君はわしは、
世に出て働けと言ふて來て
る。わしは、もつと人間
が出来てからでなくばいか
か、反對して來てゐる
のである。佛蘭西へ行つて
は、か、いづれが非か、
今日はその解決を、何れが
傾け出し、これがその因つ
たものらしい。和喜次は、
次がそれを憐んで休日毎に
訪れ、思ひ直して、再び世
に出る事を勧告しても、頑
として聞かぬやうとなつた
かつた。」

成落築新

大衆奉仕を... 念願とし社會中層
てやよひ館の名の下に、愈々六月日より
營業を開始致しました。

眺望並に清新... 遊色なく旅の御疲
れを慰むるに適當な處と存じます。

室賃を主とし... 經營致します故御
がた望みに依り差上げる設備もありませ
ん。

何卒御引立の程を願ひます。

平野郵便局通、(電話七六番)

やよひ館

三井呉服店

舊七月十四、十五、十六の三日間
是非御覽下さい

今秋染織界の王座卓越せるその技術
秋冬衣大陳列會

振袖、九帶、江戸袴、錦紗小紋、帯、訪問着
殿方御召二枚重、殿方無双御羽織、京平袴、
長襦袢、羽二重友仙、錦仙、着尺モスリン、
友禪モスリン、夜着地

植田の新名所

鯉川川口に位置し四季の風光に富み
眼下に太平洋を望み、白砂に緑の
松林は實に天下の絶勝地の定評あり
交通の最も便宜の位置にある鳴の湯
温泉へ!

常磐線植田驛下車
鳴の湯温泉旅館...
臨海館

植田町より十餘丁
(自動車ノ便アリ)
鯉川橋より當館迄は(モー
ター舟)の連絡貨ボートあ
ります。

眼鏡

最新式レンズ
各種製レンズ
豊富に取揃へて御座います
(亂視用眼鏡即時製)

七〇六話電 目丁二町平

工事

電燈、動力、新設増設及改修
オノンサイエンス設計及取付
甲種乙種電話設備
礦業特設電話設備
呼鈴室内電話設備

専屬電工ヲ置キ材料ノ採擇ト親切ヲモット
トシテ工務致シマス。

何卒御引立ノ程御願ヒ申シマス。

公認 日東商會
電話四二八

北川外科

外科一般 内臓外科
レントゲン科

平町新川町(諸橋醫院隣)
醫學博士 北川 芳夫
小川 良次
(血液検査毎日)
ラヂオモ入院ナシ
電話四六四番

平製氷會

日本水産特約
魚介 凍魚

白魚 甘鯛 帆立貝
鱈 甲イカ 日枝切魚
イサナ 鱈 鱈 鱈

電話三三三三番

博盛堂

神佛祭具一式
造花製造販賣
引物一式取扱
其他旗類一式取扱

本店 松本 幸松
平町通小橋一丁目
電話(呼出)五三五番

關内藥局

吸入用酸素
モリサシ
体温器
寒暖計

電話四〇番

日東商會

電燈、動力、新設増設及改修
オノンサイエンス設計及取付
甲種乙種電話設備
礦業特設電話設備
呼鈴室内電話設備

専屬電工ヲ置キ材料ノ採擇ト親切ヲモット
トシテ工務致シマス。

何卒御引立ノ程御願ヒ申シマス。

公認 日東商會
電話四二八

天候も大体定まり 先以て結構なお盆様 踊りの賑ひは明夜から

海岸へ新鑛區 磐灰、入山等へ五筆許可

日立製作所見習工採用 來月三日第一校で

川崎造船所 養成工募集

漫畫寫眞等を掲げ 護れ大空の宣傳

省農試技師農學博士補 洋一、東京帝大農學部助

梨子輸送 來月三日平野で

新人を狩り出して 早くも練習に入る

五選手を送る 十月には新メンバー編成

湯本町内對抗 十二強剛争覇

出廻り愈よ増加 きのこの四倉市場

即日執行を願ひます 無智な酌婦を騙した男

酒を出さぬば首た 平機開庫の書記

飯野校増築 來月一日着工

興奮に直面して 松野尾氏伯林通信抄

賭博へ罰金 既報

無免許助手 ホストを倒す

酒を飲めば首た

無免許助手

無免許助手

井坂産科醫院

御禮

御禮

大至急 會員募集

根本産科醫院

井坂産科醫院

御禮

御禮

大至急 會員募集

根本産科醫院